

第一回の県技能競技大会とび職種の部で最優秀賞に輝いた  
榎秀太さん（栗栖工業）



## 初の県技能競技大会とび職の部

# 榎さん（栗栖工業）が最優秀賞

今年初めて実施された県技能競技大会とび職種の部で、栗栖工業（中央3丁目）の榎秀太さん（24）が、最優秀賞の金賞に輝いた。榎さんは「会社の代表として出場したので、

プレッシャーはあったが、最優秀賞に選ばれてうれしかったし、ホッとしている」と語った。大会は、県職業能力開発協会が主催し、14日に山口市で開催。と

び職種のほか、今後は道を示す契機づくりと管製作の部が開かれる予定で、大会を通じて県内の若い技能者が競い、スキルアップを図ると同時に、県民に広く技能の重要性をアピールし、若者に技能の

道を示す契機づくりと管製作の部が開かれる予定で、大会を通じて県内の若い技能者が競い、スキルアップを図ると同時に、県民に広く技能の重要性をアピールし、若者に技能の指定された図面通りに

鋼管パイプを組み上げる作業を行い、正確性と速さを競った。榎さんは出場選手の中では最年少ながら、とび職歴は9年で、1級とび技能士の資格を持ち、現場では職長として働いている。

競技中は「何度も何度も図面を見ながら寸法を確認して、正確に組み上げることが意識した」といい、落ち着いて作業を進めた。時間では他の職人の方が速かったが、正確性で勝り、最優秀賞を勝ち取った。

組み上げた時の達成感がこの仕事の魅力と感している榎さん。「これから正確な仕事を

していきたい」と語った。

同社の労務安全部長で県工業連合会事務局長の松村秀治さんは「就職難の時代ながら、建設業への入職者は減る一方という状況の中、この大会で、若者が短期間で技能を習得

していることは示せて思っ。この仕事のやりがい、素晴らしさを伝えるためにも、大会は続けていきたい」と話した。（久保）

指定された図面通りに

短期間で技能を習得